

1. 件名：敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年2月20日（月）10時30分～12時35分

3. 場所：原子力規制庁 9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、
大井安全審査専門職

日本原子力発電株式会社 開発計画室：堀江常務執行役員、齋藤執行役員 他4名

同 発電管理室： 2名

同 安全室： 1名※

同 発電管理室： 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・敦賀発電所2号炉 令和5年2月10日第1113回審査会合におけるコメント

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	おはようございます原子力規制庁のカイダです。
0:00:11	今日は敦賀発電所 2 号炉、
0:00:14	先週の 2 月 10 日の審査会合におけるコメントラップの面談ということで、
0:00:21	シティーさせていただきたいと思います。
0:00:25	まずは、日本原子力発電の方から事前にいただいている資料、これに基づいて、衛藤。
0:00:32	コメントの確認の説明をしていただきたいのでよろしくお願いします。
0:00:43	はい。日本原子力発電野瀬でございます。
0:00:46	それではコメントの
0:00:50	説明をさせていただきたいと思います。
0:00:53	まず一つ目ですね不適合管理等についてということで、1 ポツで、審査資料に係る不適合管理設計変更等の業務プロセスについて、
0:01:04	この対策完了の記載、これに関して事実関係がわかりにくいこと。
0:01:09	から、適正化すること。
0:01:11	また是正処置ですね、これについても追記することというふうにまとめております。
0:01:19	埃はですね、調査データの変更等に係るコメントということで 2 ポツから、
0:01:25	になります。
0:01:27	2 ポツが、修正、変更修正後の審査資料ですね、性状一覧表等を追加することと、
0:01:37	3 ポツ目が、
0:01:38	副次的変更に関して、起点、
0:01:42	いきなり副次的変更ってなってるものに関しては、基点の変更修正等を一つの項目としているものは区別することと、
0:01:53	ということ。
0:01:54	4 ポツ目、これ同一の破砕部の福祉的変更で起点となる変更が同 1 項目ではない。複雑なケースについては、
0:02:05	直接関係する変更項目のみ紐付けするなど、統一的な正確な記載にすること。
0:02:14	ここ詰め、これはちょっと走向傾斜と条線のこと書いてますけど以下の例示的なコメントを踏まえ、観察手順、試料観察箇所の適切性。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	必要な計測結果写真補足の説明等を、
0:02:30	追記するなどしてわかりやすい資料として見直しを行うことと、
0:02:34	いうことでその下に、
0:02:36	二つポツで書いてございます。
0:02:39	一つ目のポツが、ポアホールテレビで走向傾斜を取得できなかった箇所に関して、
0:02:44	見かけの層、倉庫角の
0:02:47	者について計測結果写真等の確認した内容を記載することと、
0:02:52	いうことと、
0:02:53	二つ目のポツが条線観察の前提条件である、コアのは坂下盤側どちらかといったところや、ポーリングコアの低方位化等について、
0:03:04	必要な観察手順等を期待すること。
0:03:09	6 ポツ目が
0:03:11	とそ破碎待命が分布図のような、評価が変更となるものについては他の観察結果等の変更とは識別した記載整理とすること。
0:03:24	最後の7ポツ目のスケッチのことですけど、スケッチの作成日について、いつの露頭の状態を観察した結果なのかが重要な情報なのでそれを明確にした上で、
0:03:36	再度確認した日を記載するなど、適正化すること。
0:03:40	またスケッチを修正している内容がわかるように記載することと、
0:03:45	あとさらに今後の審査において9番のスケッチも含めてスケッチの編成がわかるように、整理して示すこと。
0:03:52	いうことで意匠
0:03:53	七つのコメントとして整理しました。
0:03:58	説明は以上です。
0:04:02	はいカイダですか。ありがとうございました。
0:04:06	前回の介護のコメントを今、申し説明いただいた通り整理してきていただいているのでまずこれについて
0:04:17	確認とさせていただきたいと思います。あと、
0:04:20	工程的な話はそのあとにまたさしてさせていただきたいので、
0:04:24	まずはこのコメントというところをお願いします。
0:04:28	衛藤。
0:04:30	1ポツ目のところなんですけれども、これ確か私の方から申し上げた、最後の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	1 ページぐらいについて 113 ページのところですね、
0:04:43	これはここに書かれている通りでして、ちょっと一生懸命こう 1 枚にこうまとめていただいたというところもあって、
0:04:53	ここに書かれているような、以前ちょっと議論になってた完了というところの
0:04:59	事実関係とか、
0:05:03	あと是正処置について、ちょっとどうなってるのかっていうところが、こっから少し、そんなことも読み取れないので、
0:05:11	その辺りも、説明性向上という観点かと思えますけれども、
0:05:17	資料を修正していただき、いただきたいということで申し上げました。これ特に、
0:05:24	これについて申し上げる点は、
0:05:28	私からはないんですけれども、
0:05:31	何かうちの方から、1 ポツで、何かありますか。なければ、
0:05:40	2 ポツ、これはですね
0:05:43	変更修正後の審査資料を追加することということでこれ
0:05:49	すでに
0:05:51	会合の前の審査、ここの、この場で申し上げてたと思います。
0:05:58	どこでもいいんですけれども、変更前と後っていうのが、
0:06:02	ちょっと書式が違ってて、
0:06:04	変更前とか修正前前後ですね。
0:06:08	修正前後がどこがどう変わったかっていうところが、なかなかこう対応つきにくいので、その辺りは、
0:06:15	修正後の審査資料、該当するようなものをつけていただいて、
0:06:21	エビデンスはエビデンスでその根拠資料ということで、つけていただくというそういった形でまとめていただくとよりわかりやすいので、
0:06:30	そういった形でしていただきたいということで、
0:06:33	再度申し上げたということですので、おそらくそこはもうすでにご認識いただいていると思いますので、
0:06:42	この点はこちらからも特に申し上げることはありません。
0:06:49	あと 3 ポツですね。
0:06:52	副次的変更に関しては、起点の変更修正が一つの項目になっているというものは個別することということで、
0:07:00	これちょっと例示的に申し上げたところが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:06	ナンバーですと 60、
0:07:09	62 番でしたっけ。
0:07:15	これちょっとここに書かれてる通りなんですけれどもちょっと確認させていたきたいのは、
0:07:21	こういった形に整理されてたっていうのは
0:07:24	何でかっていうところをちょっとお聞きしたいんですけども補足で説明していただいてよろしいですか。
0:07:46	原電のカニワです。衛藤。ここの部分については、すいません。
0:07:53	変数が h_r するというのが、大きな変更になりましてその要因が、は Z 方向が間違っていたことで、変位センスが変わっ
0:08:07	を誤ってしまったっていうことでしたも、ことですので、
0:08:13	Z 方向の誤りというものを、単独で記載していなかったということです。
0:08:21	カイダです。粗相なんですけれども例えば前回の資料 30 ページ、
0:08:28	でいきますと、
0:08:30	27 番が多分、その今変更とおっしゃったけど修正でしたが修正に伴う、
0:08:37	副次的変更でも、
0:08:39	27 みたいなやつは何か Z 方向の誤りっていうところで、一つ項目立てされてて、
0:08:47	口、62 番のやつは
0:08:51	修正は項目立てしてないけど修正した後のものというか
0:08:57	合わせて 62 で説明されているというところで、
0:09:01	Z 方向の誤りだから、一つ項目立てしてないっていう。
0:09:07	周りには 27 みたいなのもあったりしてそのあたり、
0:09:11	ただ単にちょっと整理が
0:09:16	何か考えがおよんでなかっただけなのか、何か意味があってこういうふうな何か整理されてた理由があって何か、
0:09:24	あるのかっていうところん次第で
0:09:27	ちょっとこちらのコメントというか、それも違ってくるので何かその辺の事実関係を教えていただきたいなというところです。
0:09:37	県連のカニワです。27 番の方は、当間記載は誤っていたんですけどほぼ、
0:09:46	結果的に変位センスは変わっていないので、記載の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:51	修正だけということで、
0:09:55	その後に関わる変更がなかったので、
0:09:59	ただ、矢印の方向を間違えておりましたのでそこは直してますということ、の箇所で、衛藤。
0:10:06	62 番の方につきましては、
0:10:12	まあちょっとす。
0:10:14	確かに申し訳ありません分けてた方が、おそらくわかりやすかったんですけど、
0:10:20	変位センスが変わってしまうっていうことの方ことがちょっと重要なポイントになると考えておりましたので、そのところをちょっと分けずに 1 個で書いてしまったというところ、
0:10:33	カイダですがわかりましたそうであればちょっとこちらの方もわかりやすく、見たいので、
0:10:41	もうこのコメントに書いてある通りなんですけども、分けていただきたいなというところ、
0:10:49	なので
0:10:50	音のため確認なんですけど副次的変更っていうのは 12 ページとかで、
0:10:56	関連データの変更等に併い従前提示したデータしていたデータが変わることっていうことで、
0:11:03	変更等なのでこの変更も修正も含んでるということ、いいんですね。副次的変更っていうのは、
0:11:11	原点のカニワです。はい。副次的変更は修正から、
0:11:16	矢印の向きの修正から、が原因で変数変わるなど、そういう部分も含めて副次的変更としておりますので、
0:11:28	しております。
0:11:29	わかりましたじゃちょっと、そういうそういった形で分けて整理していただきたい。
0:11:35	っていうところ、
0:11:37	あと今回、16 ヶ所見せていただいて、
0:11:41	実、実際は 157 ヶ所あるということで、
0:11:47	ほかに揉むこういったのが結構あるんですかね修正変更の
0:11:54	親の部分項目立てしてないっていうのが、今回、パッと見た感じで 5、62 番ぐらいだったんですけど他にも何かあると思っていただいてよろしいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:07	元のカニワです。まずあの分、分離することについてははい。こちらも分けることで対応しようと考えておりますので、はい。修正させていただきます。で、他の箇所についてなんですけど、
0:12:20	再度、この表の中身を確認しているところでございまして、
0:12:30	正確な数はちょっとまだ全部の整理が、やっている途中なんですけど1個か2個くらいはあるかなというふうに、ちょっと私がざっと確認したところですよと考えております。
0:12:44	はいからですわかりましたじゃそこら辺も次の資料んには反映していただいて、
0:12:50	その辺も見ていてわかりやすい資料にさせていただくということで、
0:12:55	よろしくをお願いします。これについて何かありますか。
0:13:02	規制庁ノダですけど、カニワさんご説明ありがとうございました。今62番のところ、ここ、私の方から例示的に、
0:13:11	審査会合で事実確認させてもらったんですけど、
0:13:16	御社としては、こういう62番のものは一応規定になるものを、
0:13:22	示した上で、副次的変更も、
0:13:25	各っていう、そういう、
0:13:27	ルールにしているかしてないか確認させてもらっていいですか。
0:13:41	現在のカニワです。衛藤。
0:13:47	資料を作る上で、副次的変更の規定になるっていうものは、
0:13:55	わかるようにしようというところあったんですけど、ちょっとすみませんこの部分については、その考えがちょっとおよんでいなかったと考えてます。
0:14:08	規制庁野田です。考えがおよんでいたかを読んでいなかったじゃなくて、すみません、こんなことを私が言うのは非常に恐縮なんですけど、何か物事を整理するときっていうのは、
0:14:20	ルールを決めて、それに沿ってこう整理をしていくんじゃないかと思うんですよ。
0:14:26	私の経験上、従って、御社がこういうものを整理するときに、
0:14:32	繰り返しになるんですけどこういう副次的種変更みたいのがいきなり1項目めから出てくるんじゃないかって、その規定となった変更修正そういったものを示した上で、この副次的変更というものを、
0:14:44	記載するという、決まりなのか整理のルールになってるかどうかっていうのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:50	確認したかったん。
0:14:52	で、今はちょっと考えがおよんでいなかったというのはそういう決まりを、
0:15:00	作って、ルールをそういうルールを設けていなかったということに対して、考えがおよんでいなかったというそういうことをおっしゃってるんですか。
0:15:13	県連のカニワです
0:15:17	プールは1、一応その変更、何か変わったものがあるので副次的変更っていうので、するっていうことは決めておまして、
0:15:30	考えがおよんでいなかったっていうのはこの部分は、
0:15:52	何、何つう。
0:15:53	ちょっとすみませんこちらの方の整理がちゃんとできてなかったのかなと。
0:16:03	現在、ノセでございます。
0:16:06	えっとですね
0:16:07	ちょっと、
0:16:09	うまくチェックできなかったんですけど
0:16:11	一応、
0:16:12	この項目としては、基本的にエビデンスがこうある中で、間違いを項目として起こしてたんですけど、ここって、
0:16:23	各園の観察結果の資料の中で、
0:16:26	修正があって、
0:16:29	変更があったんです。その時に、
0:16:32	一応もう一つのそれを一つのまとめとして整理して、1列でこの前衛藤。
0:16:40	12月9日の時に、
0:16:42	えっと書いてたんですけど、その時に分類を明確にしてくださいって言って分類をこう並べていったときに、
0:16:49	二つがちょっと一つの項目に、
0:16:52	入っていることが、
0:16:54	整理されてね。
0:16:56	ちょっと、だから、
0:16:59	この前の0時の時に分離しておけばもっとよかったのかもしれないんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:05	その一つの資料の中で修正も変更もこうなったので今回、
0:17:11	この前の0時の時にはもう、
0:17:13	最終的な、
0:17:16	大きい変更、ノセ変数が変わるってところをメインに書いて、
0:17:21	江藤真木県となるのは、ちょっと番号がなくてこの前、30ページだと括弧で、本当は、
0:17:28	規定はちょっとナンバー幾つってか、書いて整理したんですけどそこなくて、括弧の中では、
0:17:35	起点となる内容だけ書いてちょっと、
0:17:39	示したっていうことになります。
0:17:45	野瀬さんご説明ありがとうございました。私は別にここの62番にこだわっているわけではなくて、
0:17:53	今後我々が審査をする上で、
0:17:59	こういう御社として、今、そのルール、何か整理するときにそういう決まりを、ルール決まりを設ける。
0:18:07	それに従って整理をする。それが整理、ルール決まりに従って整理がなされているかどうかを、今野さんが言われて、確認する。
0:18:21	そういったプロセスを踏まえた審査資料が出てこないと。
0:18:28	多分、園芸にこういう何ですかね、前提条件みたいなところであったり、
0:18:35	適切な
0:18:36	資料ができていないか。
0:18:39	適切な資料については、本社は作りますということ、
0:18:44	12月のCEO会議で宣言されているわけですね。
0:18:51	会合でも発言しましたが、
0:18:55	ただ我々我々っていうか、そうですね、我々は別に62繰り返しの62番にこだわってるわけではなくて、そういうことを事業者として、
0:19:06	私が言うまでもなく、やるべきことなんじゃないかなと思って、すいませんカニワさんにはちょっと申し訳ないことをしたんですけど、ちょっとこの62番を借りて、
0:19:17	そういったルール決まりの、
0:19:20	設定。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:21	それに従って整理がなされているか、そういったこと、そのルールが決まりが適切かどうか、それに基づいて、整理がなされていることを確認するっていうことは、
0:19:34	普通考えたら事業者がやるべきことだと私は思ってますし、そういった審査資料が出てこないと。
0:19:41	すいません審査が前進しないんじゃないかと。
0:19:45	思って。
0:19:46	すいません非常に恐縮ですけど、改めてお伝えをした。
0:19:50	鍵です、すみません、62番私から以上ですけど他に何かあればお願いします。
0:20:03	すいません原電の齋藤でございます。今の件ですね、ルール化どこまでしてたかっていう話ちょっと、ノセは実態のことをちょっと話したんですけど、実態とか作業の方、
0:20:14	こうしましたけど、
0:20:15	私の方でこれ前回の審査会後から、どういう我々、技術検討書っていう、いわゆる要求図書みたいなものを作りこむ改定しまして、
0:20:27	そこでルールを決めてやっていくんですけど、それも私自身も関わってますんで、少しちょっとご説明させていただきますと、まずそうですね週数まずリリース検討中決めたのは、
0:20:41	修正変更副次的変更。
0:20:45	こういうふうに分離しましょうというルールを決めて、当間カミヤ君とか能勢君とかがですね一気にグループでダーッと作業を始めたわけですね。
0:20:56	その時に申し訳ございませんその時にですね、後々のことを考えて、いや副次的変更の場合は、大元の変更等、別の項目として仕立てようと。
0:21:08	いうふうなルールを作っておけば、今回のようなですね、ちょっとお恥ずかしいことにはならなかったと思ったんですけども、そこまでちょっと思いをおよんでなかった。ルール上はだからこの三つに分類をしましょうと。
0:21:21	いうことのルールであったということです。ただですねそれができてきたものを、実際にN R Aさんにお出しする前に、私ども、何度もこうレビューをするんですね。
0:21:33	設計開発の観点からもレビューいたしますし、また外部コミュニケーション、A D E K Aもルールレビューいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:41	その時になるほど確かにご指摘し先回の審査会合でご指摘を受けたように、何かこの 62 番だけが何かその大元の変更等、
0:21:54	福祉系へ修正で多種、これは修正なるとは思います修正と変更の要望はこの項目の中に入っちゃってるなど。
0:22:01	いうふうに、そこで気が付いて、これやっぱり全体の統一性から見ておかしいぞと。
0:22:06	そこでそういうコメントをして、修正してですね、我々もそこでも社内的に、資料のブラッシュアップができればよかったですけど、そこは
0:22:19	前回審査会合でもまさにご指摘あったように、原点としての作りこみが足りないんじゃないかと、全くその通りでございます。ございましてそこは大いに私ども反省するところです。
0:22:28	そういった実際に実務をやってくれてる人たち以外にも私どももその部分はきちっと見て、ご指摘を受けたことを、
0:22:39	もう早い段階で、それを自分たちで気が付いて修正すべきだったというふうに思っております。申し訳ございませんでした。以上です。
0:22:49	齋藤さんご説明ありがとうございました。
0:22:52	一応私は、地震津波審査部門を代表して、この面談に出席してますんで、大変僭越ながら申し上げますと、そういう、
0:23:04	マネージメントだったり、確認というところは、齋藤さんであったり、ホリエさんがやるべきところであると思えますし、
0:23:11	私ももちろん組織の中で、当然役割分担というものがあって、
0:23:18	こういうポストにいと、そういう、
0:23:22	確認とかチェックっていうものを、多分に担わなきゃいけないところにありますので、ぜひそういうところは、
0:23:33	今回の、前回のですかね、審査会合を踏まえて、ぜひ、御社の中でしっかりマネージメントだったり、チェックというものは、していただきたいと。
0:23:44	思ってますし、管理官からも、そういったことはしっかり面談で伝えるようにと言われてきてますので、すいません僭越ながらお伝えこの 62 番をちょっと、
0:23:54	例にしてですね、お伝えさせていただきました。
0:23:58	私から以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:01	おはようございます。衛藤承知いたしました。私どもきちっとですね、主体的に私はホリエの方でも、もちろんカミヤも含めですけども、しっかりとレビューしたものを出すようにいたします。
0:24:12	以上でございます。
0:24:20	カイダです。では引き続きよろしく申し上げます。で、
0:24:23	先ほどいただいたコメントリストの今、
0:24:28	3番でしたから、
0:24:31	4番ですね、4番。
0:24:34	これもおそらく推測するに今の話とおんなじようなところなんではないかなと思います。
0:24:43	30ページ31ページの表で、
0:24:47	よくよく見ると30ページ31ページの表とかあと後ろの美田スミルトン日、
0:24:55	ある調査データもすでに過去の段階からちゃんとしたところでやりましたっていうのと、
0:25:04	今回変更したっていうのが結構ごっちゃになっててですね。
0:25:10	そこがわかりづらいと。その辺がよくよく読めば、そうかってわかるんですけども。
0:25:19	なかなかわかりづらいっていうのは、
0:25:21	ところがありましたんで、
0:25:23	衛藤30ページ31ページの表のところなんですけれども、分類というところで、括弧して、48から何番でしたっけ。
0:25:35	51番の間で、
0:25:37	違う、65から68の間から、
0:25:43	31ページの65から68の間で、
0:25:50	括弧書きの中にある、これこれに伴うものっていうところなんですけど、例えば、
0:25:57	67番でしたっけ、67番の条線はもうもともと、
0:26:04	正確な位置で読んでたと。
0:26:08	それが変更になっ
0:26:10	た副次的っていうのは6566って書いてますけど、
0:26:15	65はもう、
0:26:17	すでに60.59で書いてたんで65は、
0:26:21	ここに入れると、こうふう、適切ではないというか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:26	事実関係と違うんじゃないかというような、そういった趣旨でコメント させていただいて、ここの点は多分、
0:26:32	理解いただいていると思うんですけども。
0:26:36	ここも分類のこの書き方、これについて、
0:26:43	変更があったので、それ以降に書いてあるものは全部もう福士福士福士 で、
0:26:48	65
0:26:50	66 で 67. 6566。
0:26:54	という形で付け加えていったようにも見えるんですけども、
0:26:58	この辺りはですね、実際の事実関係をちゃんと、
0:27:01	反映したものにさせていただきたいということです。ここも
0:27:07	どうなんすか作業してる時に
0:27:11	特にルール化っていうのがなくて、副次的になればもう変更。
0:27:17	変更があったところからの括弧書きにどんどん付け加えていくって いう、そういった形で整理されてたんですかそれとも
0:27:24	結構緻密にちゃんとこれに伴う変更というのは整理されてたのかって いうの、そこちょっと事実関係をお聞かせください。
0:27:36	1 件でのカニワです。ここの部分についてはその変更規定になる変更を 含むような形で、番号を入れるっていうことで整理をしております、
0:27:49	ちょっと考えの考えましたのも、6566 で 66 が走向傾斜が変わりまし て、条線の方でいきますと、
0:28:01	過去から、正しい箇所では観察はできていたんですけど、走向傾斜が 変わるということで、補正の値が変わりますので、そこで舗装、走向傾斜が 変わる原因になっているのが、
0:28:15	最新活動面の取り間違いということで、656、65 があったから 66 もあ ってっていうふうな形でふうどんどんふやしていく方向で記載さ。
0:28:26	していたんですけど、
0:28:29	まず会合でご指摘いただいたように、ちょっとそうそれでこの記載理由 のところを読むと、合ってるってところでちょっとややこしくなっ て、
0:28:39	いう状態になっておりますので、ちょっとそこは修正しようと考えてお ります。以上です。
0:28:48	はい。カイダです。わかりましたからこの分類のところの記載の仕方 も、先ほどと同じで何かそういった統一的なルールがあるのであれば

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:58	そういうふうにしていただきたいし、ないんであればちゃんとそういったルールっていうものを作っていただいて、ちょっと見てて、
0:29:06	混乱が招かないような形に整理していただきたい。
0:29:10	いうふうに思いますんで、
0:29:13	この
0:29:14	こういった 65 から 68 みたいなケースっていうのはこれ以外にやっぱりあるんですか。
0:29:22	実際どうなんでしょうか。
0:29:28	原電のカニワです。どう。
0:29:31	こんなに多様なケースというのを、
0:29:36	条線を取るときは正しくて、最初衛藤最初に活動面は何か間違っただけで整理されていたという箇所という形です。
0:29:46	だと思うんですけど、ちょっとは、
0:29:49	お恥ずかしながら、何ヶ所か確認されて確認できておりますので、そこは同様に、わかりやすいような分類の書き方をさせてしようと考えております。
0:30:02	カイダです。わかりました。そこはそういった観点で
0:30:07	そこもちゃんとわかりやすく整理していただきたいと。
0:30:10	いうところと、
0:30:12	これも過去の話なんではわからないければ仕方ないんですけど、
0:30:18	この 65 から 68 のケースでいくと、
0:30:22	もともと 60.58 と思ってたのに、
0:30:28	次の観察者さんが、
0:30:31	条線なり見るとき、別の面で見えていたっていうのはそこの同じ人なのか、別の人がやったのかわからないんですけど、
0:30:39	60.58 で、見てくださいよという、
0:30:43	情報がちゃんと
0:30:45	次の段階にいつてなかったというそういう、そういった事情があるんですかね。
0:30:51	ただその、
0:30:52	60.58 と思ってたのに、号給のほうで、もう薄片まで作ってみちゃ言ってましたっていうところその辺が、
0:31:02	事実としてそうだったんだろうというのはわかるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:05	その過去そういったところっていうのが、どうなんで生じたのかなというところが
0:31:12	そこも少し疑問だったんですけど、そこは何かもし。
0:31:17	過去の状況なんですけど、わかるのであればちょっとご説明していただきたいんですけども。
0:31:27	原電のカニワです。67番のちょっと理由のところの欄の一番最後にちょっと推定を記載しています。いるんですけど、
0:31:40	当時、一番最初の観察で60.58と、読んだ方がいまして、そのあと、
0:31:49	最終的には最新活動面はどこだっというのをまとめる。
0:31:54	歳か、条線の観察時に、60.58ではなく59の方が最新活動面としては適切だろうか、適切だという見直しをしていたと考えておりまして、
0:32:08	そのタイミングで、それ以降条線金銭数、薄片作成っていうのは、そこで見直しを行った後の進捗で、作業を進めて、
0:32:19	言ったんですけど最新活動面だとか数値だけで示し残していくような部分っていうのが、修正ができていなかった。
0:32:30	見直しを反映できていなかったというふうに推定しております。
0:32:34	以上です。
0:32:37	赤井です。わかりましたちょっとそこは
0:32:41	当時の状況の推定にはなるっていうことだと思いますけれども、
0:32:48	そういう状況があって、何とか、
0:32:53	合ってるもの建ってないものが混在して現在に至ってるということで、ちょっとその辺の
0:33:02	どどういう何の変更に伴う、
0:33:05	副次的変更かっていうのがわかるような形で、先ほど申し上げたようにちゃんと整理していただきたいのでよろしくお願いします。
0:33:15	この点、何かうちの方からありますか。
0:33:22	規制庁の野田ですけど、ここ私が
0:33:25	審査会合で指摘をさせていただいて、野瀬さんとちょっと事実確認しながら、はい。こういったコメントにまとめていただいたんですけど、ここはちょっとですね、
0:33:37	コメントの内容を若干修正してもらえればとっていて、
0:33:42	それはですね、一つは、この統一的で正確な記載っていうところがあって、ここはあくまでも今、カイダの方からも話があっており、分類の話であって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:56	こういう
0:33:58	何ですかね、この場合は、変更を起点とした副次的変更が、こういった要因に伴うものかっていうところを、
0:34:11	の非常に例外的。
0:34:14	そんなケースですよおそらく。
0:34:17	ただこういうその例外的な、ここに限らずですけど、その例外的なものであったり、複雑なものっていうのは、
0:34:25	私はやっぱり画一的な記載ではなくて丁寧な記載が必要だと思って、
0:34:32	いますしそうでないと、我々も御社からの審査資料を見た時に、ここがこういった、なんですかねこの場合だと
0:34:43	変更によって生じているかということがわかんないわけですね。例えばその、
0:34:50	シンプルな例ってのは多分さ、65番のその最新活動面の深度が変わって、
0:34:56	それが66本を67番も68番も最新活動面が見ているところが変更になりましたっていう、シンプルな例だったら、別に画一的な記載で、我々、
0:35:07	すぐに理解できるわけですね。他方でここは65番、総合計者は、
0:35:17	間違ったもので見てたけど、
0:35:19	条線と運動先生っていうのは、正しい方で見てたっていう、そういう、
0:35:25	私なんか感覚的に言うところこういう例外的なものに当たると思うんですよね。そういったところは、もちろん正確な記載っていうのも必要ですし、かつ、
0:35:36	正確性を期した上で、少し
0:35:39	丁寧な記載それ形や記載っていうのは、少し補足的に、
0:35:43	補足。
0:35:45	説明が必要じゃないかと思うんですよね。それは多分、
0:35:49	どこの組織でも、
0:35:51	例えば私なんかその幹部に説明するときに、
0:35:56	シンプルなものはシンプルな説明をしますけど、やっぱりそういう複雑なものであったり、例外的なものっていうのはそれは少し、やっぱり、
0:36:06	口頭で丁寧に説明したり、
0:36:09	紙で説明するときには少し分量は多くなるんですけど、
0:36:14	記載を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:15	充実させたりするっていうのは、
0:36:18	別にそれはうちの組織だけではなくてどこの組織でも同じじゃないかな ってというのが私の感覚であって、それがちょっと御社に当てはまるかど うか私は、存じてませんが、
0:36:29	一応そういった趣旨で申し上げましたし、これはあくまでも 65 から 68、
0:36:36	を例にとって申し上げたんで、これは別に、この調査データの変更の話 もそうですし、先ほどの話ともリンクしてくるんですけど、
0:36:47	御社から、
0:36:50	今後提出される審査資料については、そういう例外的なもの複数複雑な ものっていうのは、そういった観点で、少しわかりやすく丁寧な記載 を、
0:37:01	お願いしたいということで申し上げたんで、ちょっと今 4 ポツの記載 が、何かこの 65 番のところに特化したようなものであり、かつ、最後 の終わりのところは、統一的な性格、
0:37:14	正確な記載することっていう、ちょっと分類のところに特化した記載に なってるんですけど、そうではなくて、こういったもの、
0:37:24	変更が同一項目でない。
0:37:26	等の複雑なケースや、例外的なケース、こういったものについては、
0:37:33	直接関係する変更項目とのみ紐付けするなど、
0:37:42	統一的な性格を記載するとともに、丁寧、
0:37:49	記載することとか、そういう趣旨で私は申し上げたつもりですので、少 しそこは、4 ポツの記載はですね、修正いただければと。
0:38:00	思っていますけど、いかがでしょうか。
0:38:14	全然ノセでございます。
0:38:17	衛藤。
0:38:18	田尾さんがおっしゃられたことを踏まえましてコメント修正したいと思 います。承知しました。
0:38:29	すいません原電の齋藤でございます今宇田さんのですね、ご指摘された ことは、単にコメントの、こちらの修正というだけではなくてですね、
0:38:39	やはり分類の書き方とかでも含めてですね、特殊なものは特殊である ということをちゃんとわかるように書きなさいと。
0:38:49	いのご趣旨と理解しましたのでこれが同法にもきちんと展開する必要が あるというふうに認識いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:55	この部分に関して言うところとちょっとちょっと私ども社内的にいろいろと相談する中で、どんな方法でやろうかっていうこともやって考えたんですけども、例えば一つの方法として例えば 67 番はですね、先ほどカニワがご説明しましたように、
0:39:11	もともと 65 番の変更によってアジア 66 番が生じて、66 番の変更によって 67%が生じたということなんでこれでも間違いではないんですけども、
0:39:22	ただ 66 番は、間接的な変更費用であって、直接的な変更理由にはなっていないってところですよ。で、
0:39:31	そういった意味で例えば 67 番の書き方は、No.65 っていうのを削除すればいいのかなっていう考え方もあるかもしれませんが、多分そういうことをおっしゃってるんじゃないと思ひまして、
0:39:43	むしろ、65 によって 66 番変わってその影響に伴うものであって、ただし 65 で書いてある最新の活動面というのは、きちんと取れてたと。
0:39:53	いうことをこういった欄にも書くってということなのかなというふうにちょっと私は理解しました。実際変更修正理由の欄のところに、かなり詳細にですね、いわゆる実は、
0:40:04	最初の活動があつたんですけどことは書いてるんですけどもただ、この分類だけ見ると、何かすごくシンプルなものに見えてしまうので、そうならないように、ちゃんと丁寧に記載すること。
0:40:16	いうふうに理解いたしましたけれども、それでよろしかったでしょうか。
0:40:22	規制庁野田です。齋藤さんご説明ありがとうございました。そうですね基本的にはそういった趣旨でありまして、一つはやっぱりこれ、
0:40:33	こういう、
0:40:34	縦で見る、65 から 68 をこう縦でこう見るそれは変更があつて、副次的変更が生じているという話と、あとは今度横、横に見たときですね、今、齋藤さんからご説明あつたときに、この
0:40:49	変更修正の内容等、理由と分類というものが整合活性が図られているか、我々こういう縦横で見たときに、やっぱりこの口、
0:41:00	そうですねナンバー67 の分類のところにある副次的変更の中で、ナンバー65、66 に伴うものという記載のうち、
0:41:11	No.65 っていうのは何なんだろうっていうそういう疑問に、
0:41:16	ぶつかったわけなんですよ。で、そこは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:21	このナンバー65の、
0:41:23	記載をどうするか削除するのかわかんないんですけど。
0:41:27	括弧にするのかアスタリスクにするのかそれはもう御社にお任せしますが、趣旨はまさに齋藤さんがおっしゃる通りでこの分類を直せば済むってわけではなくて、
0:41:37	やはりその隣の変更修正理由のところにも、やっぱり
0:41:44	66とはちょっと状況が違う状況が違うというのは、
0:41:49	65のところで、
0:41:51	最新活動面が変わった。
0:41:54	ことが生じてるんですけど、67ではその、新しい方をちゃんと見れたのかもしくは、66と同じように古いところを見ちゃっていたのか。
0:42:03	そういうところの説明っていうものも、齋藤さんおっしゃる通り私も必要だと思っていますし、ちょっと会合の中ではそういった細かいところまでは触れなかったんですけど、
0:42:16	まさに繰り返しなんですけど齋藤さんのご理解の通りですので、そういったご理解で、
0:42:25	水平展開、資料全体ですね、展開してもらえればいいと思いますし、あとは、徒歩繰り返しなんですけど、別に
0:42:32	この今回の資料だけではなくて、今後、審査資料作られる際、それは、この調査データの話だけではなくて、ゆくゆくは、K断層の連続性の話とか、そういった議論に、
0:42:44	なって、もっと技術的な議論になってくると思うんですけど、そういう技術的な議論になればなるほどやっぱりそういったところが丁寧にかかれていないと、その審査会合の中で、
0:42:55	何ですかね、御社と、その建設的かつ、
0:43:02	効率的な議論というものができないんじゃないかということを、私もそうですし、管理官、部長先生、皆そういったことを危惧してますので、
0:43:13	これもちょっと65番から68番を題材にして、少しコメントをさせていただいたんですけど、背景は、そういうことであってですね。
0:43:25	もうちょっと、そうですね。広義の意味で、我々のコメントをとらえていただければと思います。以上です。
0:43:34	齋藤でございます。承知いたしました。
0:43:37	特にですね3番と基本、3番とですね、同様に、やはり私どもですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:44	マネジメン等の課題であるというふうに認識いたしまして、実際に作成してある担当部門だけではなくて、我々上位職さんも含めてですね、
0:43:55	きちんとそこはですね見て、丁寧な資料を提出できるようにしてさせていただきたいと思っておりますよろしくお願いいたします。
0:44:07	規制庁野田ですけどはい。よろしくお願いいたします。御社におかれては、これまでの検査部門の確認の中で、そういった外部コミュニケーションのプロセスも含めてですね、そういったことが、
0:44:20	しっかり確立されてるっていうことが確認されてますので、そういった確立されたプロセス体制に従って、実効性のあるですね、確認、
0:44:30	をしていただければと思います。以上です。
0:44:42	はい、規制庁のカイダです。
0:44:44	そうしますと、今、4番、コメントの4番のところは以上となりますけれども、
0:44:52	トーン引き続き5番ですね。
0:44:55	5番は小項目が二つありまして、
0:44:59	これは48番と49番のエビデンスこういったものを1例に、
0:45:05	ちょっとこれは事実関係がわからないので、
0:45:10	丁寧に説明を追記してくださいというところをお願いしたというところで50例えば41ポツ目なんですけど51ページですかね。
0:45:25	これポアホールテレビで走向傾斜を取得できなかったか、できなかった箇所に関して見かけ総合格の差について計測結果、
0:45:34	写真等の確認した内容を記載することという、
0:45:39	ところなんですけれども、
0:45:43	ここの申し上げた趣旨というところは、そもそも代表し、値を代表してるっていうところはこの資料見るまで
0:45:53	我々も
0:45:54	ちょっと少なくとも認識してなくてですね済んで、
0:45:58	で代用してるのであればその
0:46:01	どういうふうに、もともと代表してたのを、今度は代用値ではなくて、そっからの推定値に変えたという、
0:46:10	ところなんですけれども。
0:46:12	その次、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:15	何て言いますか、既知の割れ目から今回推定した割れ目に対して、どう いうふうに導いたかっていうところが、ちゃんと事実関係というかどうか いう過程で見たの。
0:46:26	導いたかっていうところわかるようにしていただきたいという、そうい ったところなんですね。
0:46:33	そうすると 51 ページを見ると、
0:46:38	今のこれ、会合でも申し上げたんですけども、
0:46:42	傾斜については後、23 どう
0:46:46	違ってますそれを、
0:46:48	考えて補正しましたっていうところなんですけれども、
0:46:53	層厚も違ってたら、ただ単にこう、こういった過程で、次のページのス テレオネットを書くだけじゃ済まなくなる。
0:47:02	層厚の差ってというのは、
0:47:05	どう、どこにも書いてないと。
0:47:08	いうところが資料見えて気づいたんですね。
0:47:13	これは倉庫もほぼ一緒だろうというところの説明あったような気がする んですけどもそれが書いてないので、
0:47:20	これで正しいのかどうかっていうところも、わからないと。
0:47:25	そういった過程はすべて書いてくださいというところの趣旨なんですけ れどもその点は
0:47:33	一応、ご理解いただいてるということでよろしいでしょうか。
0:47:45	原電のカニワですと。はい。この部分も含めて、
0:47:50	当間走向傾斜等で手順がないとわか。
0:47:56	衛藤。どういう形で導いたかっていうところの記載が不十分。
0:48:02	ちょっと説明が丁寧でない箇所は、
0:48:07	そのどういう過程という過程で、
0:48:10	導いたかっていうのがわかるような記載をするようにしております。 今、資料を作っております。
0:48:17	はい。カイダです。わかりましたそこは
0:48:21	これも先ほど来ちょっと話題出てるにも 1 例というか、ここを見てて、
0:48:28	朝、推定した過程が、
0:48:31	この資料ではなかなか読み取れないというところの 1 例として申し上げ たと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:36	いうところですね他のところも似たような形でチェックしていただいて、どういうふうに今回評価し直したかっていうところの過程がわかるように、説明の追加をお願いしたいと思います。
0:48:48	ちょっとその 51 ページのところを見て
0:48:52	ちょっと事実関係的なことを確認させていただきたいんですが、
0:48:58	このコアを見て、層厚が一緒だっていうのは
0:49:04	ちょっと断面とかを見ないで、どういうふうに判断されたのかっていうのをちょっと今わかれば口頭でもいいんですけど、
0:49:12	お願いしたいんですけども、
0:49:15	コアの表面見てなんかやったってことですか。
0:49:19	原電のカニワですとこの箇所につきましては、ちょっと今、点線、赤色の点線と水色の点線がちょうど入っているところ。
0:49:29	が、衛藤。
0:49:31	基地の割れ目と最新活動面になるんですけど、あそこのコア上で、
0:49:39	もうちょっと
0:49:43	直線的に、どちらも見えておりますので、
0:49:49	見かけの層厚っていうのが同じであるとは考えております。実際に実物も、
0:50:00	ここについては薄片作成で研磨編という形になっているんですけどその沖山編等でも確認をして、
0:50:09	等、
0:50:11	層厚が、
0:50:14	ほぼ同じであるということを確認しております。
0:50:18	はいカイダですわかりましたね km 辺作ってるってことは実際取り出してそこを切ったりしてるっていうそういったデータもあるという意味での層厚もちゃんと確認されてるんであれば、
0:50:29	ちょっと今後そういったところも含めた上でちょっと説明をデータを、今ご説明されたようなものを追加していただきたいなと思います。
0:50:40	それと
0:50:41	この 51 ページの右下の最新活動面と近傍の割れ目の間で、コア回転していないため、
0:50:48	傾斜角の差は変わらないという、
0:50:51	ところなんですけど。
0:50:53	これ多分このなんて言いますかね 75.8。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:57	7、7メートルぐらいに水平の割れ目があって、
0:51:02	これ実は何か人為的な割れ目かなんかなんですかねそこで実は、
0:51:08	そこで実際は、コアは回転してるんだけど、
0:51:14	その浅い深度のところの、
0:51:17	何て言いますか赤と青ノセが交わっているところ。
0:51:21	ていうのは、
0:51:22	回転してないとか、そういう、ここのちょっと趣旨がちょっとこれもまた、
0:51:28	その説明がちょっと足りてないような気がするんですけど、ちょっとその辺もまた今、ご説明いただいていいですか。
0:51:37	原電のカニワですとここの部分について、
0:51:41	でも、
0:51:42	つついてたんですけど、この赤の、
0:51:47	最新活動面とその基地の割れ目の間でコアの回転があるところの23度っていうのは、誤った考えと推定江藤測定値になってしまいますので、
0:51:59	そこに13度を測る。
0:52:02	範囲において、
0:52:04	コアの割れ目等がなくてここが繋がっておりますので、回転がなくて、23度っていうのが、正しい値ですっていうことをちょっと表現したかった部分になります。衛藤。
0:52:18	おっしゃる。
0:52:19	先ほど言われました通り、
0:52:23	この60、
0:52:26	75点。
0:52:29	7、7とかの辺りでちょっと細かな多分引き上げ時の割れ目だと思んですけど、
0:52:36	等ありましてそこで、コアが若干改善しているので、最新活動面がちょっと不連続に見える。
0:52:45	1、一連の直線で見えてない部分があるのでちょっと回転していないっていう、既知の面とは、最新活動面の間では回転していないっていう。
0:52:55	ところをちょっと変えたところですよ。
0:53:00	カイダです。はい、わかりました。ちょっとここの記載もザン中でもです。ねこれ何を意味してるんだらうとかとかいろいろ話をしててよくわからなかったんですねそれもなので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:13	ここを一つとっても
0:53:16	70、
0:53:17	何とかこのここにある水平の割れ目のところでは、
0:53:21	回転をしているんで、人間的な割れ目のところで回転をしてるんだけれども、
0:53:26	今回、傾斜の差を、
0:53:29	測定したい場所について見れば、
0:53:33	うん。
0:53:34	そこは回転していないので、
0:53:37	そこをもって判断できるというような形で、
0:53:42	ちょっといきなり改定の話が出てきてるのでこんな何なのかなということころちょっと話をしていて、おそらくそこはちょっとやっぱ、
0:53:51	市言葉足らずのところがあるのでこういったところも、全体を見て、
0:53:57	修正というか、わかりやすい記載にさせていただきたいんですけど、よろしいですか。
0:54:06	うん県連のカニワです。承知しましたところについてもちょっと記載の方は、わかりやすいように修正。
0:54:13	しさせていただきます。以上です。
0:54:17	はい。よろしくお願いします。
0:54:21	ここの48番のところについて皆さん何かありますか。
0:54:29	この傾斜角とか層厚か見かけのですね、あり方なんですけども、
0:54:37	この、この写真でこうやって発覚。
0:54:40	わかってるように見えるんですけども実査はですね、我々、
0:54:45	断層オオイ解析の専門家っていうのは、
0:54:49	専用のスケールを使ってやります。
0:54:54	ここは2行。
0:54:56	透明なスケールは、透明なスケールがあってですね、それにコースサインカーブのような、
0:55:03	図が書いてます。それを
0:55:06	コアに、
0:55:08	うまいてですね、使うんですけども、
0:55:11	それを使わないと、正確な
0:55:15	見かけの傾斜角とか、
0:55:17	層厚書くって、測りませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:21	必ずそれを使って、
0:55:23	それを巻いた状態で、写真撮って証拠写真、計測なり写真を、色写真を示してください。
0:55:55	どれですか
0:55:59	どちらにしてもちょっとわかりにくいのは確かで
0:56:03	前回のヒアリングのときにご指摘いただいて、本当はきちんと精査して私あったらちょっとじゃなくて、
0:56:11	できませんでしたのでここは
0:56:15	わかりやすい、資料をデータでどういう形で決めていったかとかいうところをきちんとわかるような資料にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。以上です。
0:56:30	もちろんわかりやすいってのはそうなんですけども、正確な正しい測り方で、測定してください。
0:56:38	よろしくお願いします。
0:56:46	きちっとノダですけど、若干補足させて補足というか、
0:56:50	ちょっと今ミヤワキ側からは
0:56:53	必ずっていう、ちょっと必ずって言葉があったんで、ちょっと気になった、気になったというか、
0:57:00	別に、
0:57:01	我々としてはこの
0:57:03	究極的には許斐寛の傾斜角が正確にはかかれているっていうことが確認できればいいので、別にもちろん今、
0:57:12	宮脇の方から提案があって上がって上がっていうか、お示した方法でもいいですし、もちろんその御社では、別の方法で、いや別の方法あるかないか私は承知してませんが、
0:57:23	別の方法でこの見かけの傾斜が正確にはかかれているっていうことが、ご説明できるのであれば、それは別に、別の方法でも、よくて、別に。そうですね。
0:57:33	仕様要求ではなくて、ごめん性能要求ですので、そこだけちょっと補足させていただければと思うんですけど、規制庁側から、
0:57:43	何か補足があればお願いします。
0:57:47	カイダです先ほど私もこれ確認したんですけども実際取り出して見て断面を見てとか、紙研磨本を見て、それで、倉庫も一緒だっていうふうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:58	何か判断したとか、そういった状況があるんであればそういった、
0:58:02	形でもできるかもしれないですし、ちょっとその辺の過程をまた
0:58:07	正しい測り方をしてますよっていうのがわかるような形で、
0:58:10	を示していただきたいなと思ってます。
0:58:14	それまた資料見てから判断したいと思いますのでよろしくお願ひしま す。
0:58:23	引き続きその下の段ですね
0:58:28	これは多分 49 なので 59 ページ、いいかなと思います。
0:58:39	59 ページの資料を見るとちょっとあれですねさっきの話と絡めて、
0:58:46	やっぱりこれコアを学校で回転してるんすねオレンジの線がここでちょ っと、
0:58:52	ずれてるので、ここで回転してるけれども、
0:58:56	ていうところ。
0:58:57	だけど肝心なところでは貫通回転してないという意味かと思ひますので
0:59:03	そこはちょっと確認、回転してるっていうのはここで確認できるって いうのは申し添えておきます。
0:59:10	それで
0:59:13	ここなんですけどもうコメントに書かれてる通りなんですけどコアの宇 和番下盤がどっちかとか、
0:59:22	この低方位化の方法。
0:59:25	そういったところが、
0:59:28	わからないと。
0:59:31	これ先ほどと似たところなんですけどそういった手順がなかなかわから ないのと、
0:59:38	ちょっとこの資料で見てもどっちが上盤下盤かっていうのが、
0:59:41	非常にわかりづらいと思う。例えばこのコア写真のところを見て、
0:59:46	うん、深度が浅い低いわかるんですけど、宇和盤下盤側っていうの が、
0:59:51	どういったところをもって宇和橋束になってるのかっていうところが、
0:59:56	もうわからないんですねと、この断層を介して宇和場が、上がわが んし、宇和版なのか下盤なのかと。
1:00:06	これ斜めボーリングなんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:09	斜めに掘っていった時に、実は下盤から掘っていったとか、不破坂から掘ってるっていうのは、あると思うんだけど、おそらくそれはどっかの断面図とかを見れば、
1:00:20	わかるのかもしれないんですけどここには少なくとも示してないし、
1:00:24	その辺の状況がわからないのではバー下盤っていうのが、
1:00:28	どっちに当たるかっていうのを示していただきたい。
1:00:31	それあの下モード図もほぼ同じで、
1:00:37	下盤側から監査するっていうふうなことが書いてあるんですけどこの、
1:00:43	モードの、何て言いますか、このコアの、
1:00:48	モード図がどっちが宇和盤下岩盤。
1:00:52	とか、どっちが頻度が浅いのか。
1:00:55	深い方向なのかっていうのも、
1:00:58	こういったところにも示していただかないと、
1:01:01	この09の示してある角度が
1:01:05	ちゃんとしてるのかっていうのもちょっと反対になったりするのでわかりづらいと。
1:01:10	いうところをお願いしたいと思います。
1:01:14	あとは、
1:01:21	その辺とあと定方位化の方法ですね。
1:01:24	手順なのでそれを示していただくとしてちょっとこの辺の下記載で、宮木さんの方向かありましたらお願いします。
1:01:40	これ今カイダの説明があった通りですね、これ、
1:01:45	盤と下盤を間違えるとその分掛けの運動センスの方向が逆になってしまっ
1:01:52	て、
1:01:52	我々が本当に正しいのかどうか判断。
1:01:56	することは、
1:01:57	なかなか難しいということになりますんで、そこところわかりやすく正確に記載していただくようお願いいたします。
1:02:06	へえ。
1:02:10	以上です。
1:02:21	この点今ほど申し上げたんですけれども、よろしいでしょうか。
1:02:31	はい。原電の五十嵐です。はい。そこの条線のところですね
1:02:35	プロパン下バーンを把握するの。
1:02:38	断層の姿勢を把握するモード図をつけて、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:42	資料をちょっと拡充。
1:02:45	わかりやすく、拡充しようかなというのと、
1:02:48	あと、16ページの、
1:02:50	参考で、薄片の作成についてっていう行為、一番いいものは、
1:02:54	つけてるんですけど、条線についてもちょっとこういう、
1:02:57	1枚ものを、を作って、
1:02:59	こういうふうに、こういう手順で、条線取得取得していきますよっていう、
1:03:04	説明も追加してですね、資料を
1:03:09	ちょっと中身を、
1:03:11	ふやしていこうと考えております。以上です。
1:03:21	規制庁宮脇です。よろしく申し上げますそれとですね
1:03:26	ポーリングコアの底オオイかですね、これ、もう
1:03:32	観察手順を記載してくださいというふう、お願いをしたんですけども、
1:03:37	これ多分
1:03:41	ポーホールテレビカメラを参照して、
1:03:44	そこから角度を拾ってええと、ちょっと幾つかのその手順を踏まない と、
1:03:51	手オオイ勝手できないと思うんですよねその辺りの我々がちゃんと、
1:03:56	正しいかどうか検証できるように、
1:04:01	具体的な数値を使って、説明していただきたいと思います。よろしくお 願いします。
1:04:08	県の五十嵐です。承知しました。
1:04:26	規制庁ノダですけど、今のところ、運営のため本社の、
1:04:31	理解を確認したいんですけど、今ミヤワキの方が数値っていう話があっ たんですけど、
1:04:39	ちゃんと理解されてるから、
1:04:42	基準を示した。
1:04:44	一応、
1:04:45	基準を示した上で、その手順にのっとっ。
1:04:48	て、
1:04:49	ある1例について数値、
1:04:54	的に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:55	そのプロセスを示して欲しいという、そういうことを宮脇さん言ってるっていいですか。
1:05:06	ということが、御社でも理解されてる。
1:05:10	ていう。
1:05:11	ことを確認したいんですけどよろしいですか。
1:05:16	基準のところに具体例として
1:05:21	ちょっと出す場所はまた検討しますけども
1:05:24	誤った箇所でご説明してるところを1例に出して、
1:05:29	説明していきたいと思います。
1:05:33	規制庁野田です。ありがとうございました。はい。そうであればそういった方針でご対応いただければと思います。すみません失礼しました。
1:05:48	んではカイダです6番のところの確認をさせていただきたいと思ます。
1:05:55	これは臍帯名とか分布は臍帯の分布っていうのは、もうかなり評価に立ち入っていると。
1:06:03	いうところがあるので、
1:06:05	それが変更になるっていうのはちょっと識別し、他とは違うんだっていうようなところ。
1:06:15	わかるように整理して記載してくださいということで、一言で書けばこの6ページ、6番に書いてある。
1:06:24	通りかなというふうに考えてます。
1:06:27	で、ちょっとこの点は私の方からも確認させていただきたいんですけども、
1:06:33	今回の
1:06:36	資料1-1っていうのは調査データのトレーサビリティの確認結果に関するコメント回答ということで、
1:06:44	あくまで調査データ、
1:06:47	調査データっていうのは
1:06:50	これが
1:06:51	調査データの範囲にもよるんですけども、
1:06:56	何ですかね以前ご説明いただいた基となるデータですか元となるデータを明確化してそれをちゃんと管理しますと。
1:07:05	変更する際には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:07	変更管理をしますという説明が12月のときの会合であったかなと思ってまして。
1:07:14	確かに走向傾斜とか、何かその辺りの前段の方にある説明表の説明は、
1:07:22	あくまでデータっていう
1:07:25	いうふうに思ってたんですけど、
1:07:29	この破碎体名とか、断層分布図っていうのは、多分もととなるデータのデータに入っていないやつで、
1:07:38	今回これが一緒の表に入って整理されてるっていうのは、どういう。
1:07:44	位置付けなのかなというところも含めてちょっと確認したいんだっただけですけども。
1:07:52	こういった評価の変更箇所っていうのは、
1:07:55	結構ありとあらゆるところにあるはずで、そす今回それを、
1:08:00	データの変更の中に含めて、
1:08:03	こういった評価の変更も入ってるっていう。ちょっとその辺の事実関係を確認させていただきたいんですが、よろしいですか。
1:08:18	原電のカニワですと、ここにつきましては、
1:08:24	走向傾斜って井本となるデータですね破碎部の取得したデータが変わりましたので、それに伴いまして、これまでお示ししている、
1:08:37	連続性の検討は最大の、どういうふうに分布しているかっていうところも確認しましたのでそれを合わせて、
1:08:44	指名し、
1:08:47	1項の表に破碎部という間、1個の破碎部っていうことで、その連続性の検討結果まで含めて表を作成していたんですけど、
1:08:58	は、確かにここについては、
1:09:02	今も、
1:09:03	取得したデータを用いた評価になるので、次の資料ではちょっと表を分けるとかをカミヤしたほうがわかりやすかったのかな、今日分けておいたほうがわかりやすかったのかなというふうに考えておりまして、
1:09:18	今和気瑠羽ことも検討しております。
1:09:23	カイダですそうですねちょっと
1:09:27	前回の会合で求めるデータっていうのは説明を受けて、
1:09:31	そののが、いかにこうこう、何か変更管理っていう説明も多分、前回の資料にあって、
1:09:40	そこにはない項目がここに入っていたりして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:43	評価ってなると先ほど申し上げたんですけども、もうたくさんあってその中で、これを説明する意味もよく、
1:09:50	わからないので少なくとも今回、
1:09:52	は臍帯名が変わりましたとか、
1:09:55	断層分布が変わりましたっていうのは、今ほどおっしゃったように、
1:09:59	ちょっと別枠で、表を空けるなりして、
1:10:03	これはデータの変更じゃなくてさらに
1:10:07	副次的な副次的というか、さらに一步進んだ評価の段階での、
1:10:13	話ですっていうのがわかるようにしていただいて、
1:10:18	説明、整理していただきたいと思ってます。
1:10:25	この点、報告値の方から、
1:10:28	ございます。ありますか。
1:10:37	規制庁野田ですけど、今後の作業の作成方針作成方針として、表を分けるということは、
1:10:48	理解したんですけど、
1:10:50	もうちょっとこう、先を見据えたときに、
1:10:55	そのことでちょっと確認をしたいんですけど。
1:10:58	今後例えば先々、いつの日か、
1:11:02	K断層の連続性の評価の資料を出していただくときに、
1:11:08	こういう例えば、今回の資料でいうと、
1:11:13	66ページからですかね。
1:11:16	今、カイダが申し上げたこういう評価の変更に伴う、こういうところは、
1:11:21	再度そういったところに盛り込まれるのか、もしくは、もうこういったところは、あくまでもちょっと私は違うんじゃないかなと思ってんですけど、この資料。
1:11:31	この資料が、この資料で筧先生、次回もしくは次回以降いずれしてもこの調査データのトレーサビリティの確認結果の中で閉じてしまって、もう、
1:11:43	連続性の評価の時にはその結果しか示されないのか。
1:11:47	少し先を見据え過ぎているのかもしれないんですがそこ、もし御社の考え方がすでに整理されてるのであれば、
1:11:56	確認させてもらっていいですか。
1:12:08	もしなければいいです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:11	派遣でノセでございます。
1:12:14	そうですねそこまで今、整理はされてなくて、一応検査の中ではけなすの連続性評価の資料を作るってことで今作って、
1:12:25	おっしゃられたように今は変わったところの分布図が張りつけていうか変わった箇所、千賀川田課長に、
1:12:34	枠をつけて、
1:12:37	置いてあるっていうところ。
1:12:39	でございます。今の状態としては、
1:12:41	はい。以上です。
1:12:45	規制庁野田です。ご説明ありがとうございました。
1:12:50	私の私見を申し上げますと、やっぱり今カイダが、
1:12:55	言われた通り
1:12:57	元となるデータの変更はどこまで、そこにそれに伴って、
1:13:03	評価の変更が生じることは生じると思うんですけど、
1:13:06	その何ですかね、協会というか、そこは多分、少なくとも御社の、
1:13:15	中では、考え方を整理して整理した上でそれを、
1:13:20	この調査データのトレーサビリティの確認でどう示すか、今後の連続性評価の中でそれを踏まえてどう示すかっていうところは、
1:13:30	考え方の、そういった考え方を踏まえて、資料の作成の方針というか、
1:13:37	そういうところの整理は、必要ではないかと思っています。なぜかという、例えば、これは悪い例に当たると思うんですけど、
1:13:47	今後連続性の、
1:13:49	K断層の連続性評価の資料が出てきたときに、もう結果だけあって、いやいやそれはもう、トレーサビリティの確認のところ、
1:13:57	破碎待命ってあったり、分布がどう変わったかっていうのは示したでしょう。
1:14:02	とか言われると、
1:14:03	少なくとも私の受けとめとしてはそれは元となるデータの説明を受けました。
1:14:09	ちい御社もそういったつもりで、
1:14:12	この資料を作っていると思っていたところを、
1:14:17	その中に、
1:14:19	評価の変更に関わる場所も、
1:14:22	あって、それも説明したと言われていても、それは普通、私、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:29	だけじゃなく、
1:14:30	普通の人はそうは受けとめないんじゃないかなと思って。
1:14:34	いますので、
1:14:35	ちょっとその点は、少し、
1:14:39	かたい分かわかんないですけど、
1:14:42	先のことを見過ぎてるのかもしれないんですけど、
1:14:46	そうですね審査資料の作成の2度手間というか、
1:14:52	そういったことを避けるために、
1:14:54	一応この時点でお伝えしておきますけどもし本社から何かあればお願いします。
1:15:05	齋藤でございます。ご指摘ありがとうございます。
1:15:08	えっとですねこちらの方からご提出しているそもそも12月にですねご提示した資料というのは、実は最後のページの不適合のところにも書いてあんですけども、
1:15:21	もともと検査D系断層の連続性の資料を出し直すと、それを見ていただくというところで、作り込んできたものから、
1:15:33	そこから資料、特に変更点だとか柱状図だとか、そういうところをご指摘受けたところをピックアップして、それでもってスリッドを出してきたものを、
1:15:43	ですねさらに12月の審査会合で、変更修正或いはそれなりのものを少し分類がわかりにくいからそこもやっぱり、より分類を適正に適正化してといいますかですね、要は詳細にして、
1:15:59	ブラッシュアップしてお出ししてきたものになりますですから、もともとは私どもですね、今後ですね、トレーサビリティをご確認いただいた上で
1:16:13	技術的な審査に入っただけなのであれば、それに出していくものはやはりK断層の連続性評価に関するものかなと思って今までも準備してきましたし、その一部を抽出してそれをどんだんだんだんブラッシュアップしてる来てる状況でございますので、
1:16:27	出すものは基本的にそれをすべてパッケージにして、出していくのではないかなというふうに、そこを社内でしっかりと議論したわけではございませんけれども、もともとこの12月以降の資料の立て付け、でき方から言うとですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:41	そういうふうに出していくのが普通であってですねおかつそれが一番、今までのトレーサビリティというのを確認の内容も包絡した丁寧な仕様になってるのかなというふうに考えてございます。以上でございます。
1:16:56	規制庁野田ですけど、齋藤さんご説明ありがとうございました。もしも。そうですね御社がそういった考え方で、考え方というのはあくまでもそのK断層のレンズ作成評価に関わる審査資料の中から、12月の会合であったり、それを踏まえて、
1:17:13	今後、作り込みをしていくということであれば、おそらく普通に考えれば、そのK断層の連続性評価の、
1:17:22	議論に入る際の審査資料というのは、そういった内容が網羅的かつ、これまでの議論が反映されたものとして、出てくるということで理解し、
1:17:33	さらに言うと、さっき私が危惧していたような問題っていうのは起こらないんじゃないかと理解しましたんで、私の方からの確認は以上ですけど。
1:17:43	この点規制庁の方から何かあればお願いします。
1:17:49	カイダです繰り返し、同じような趣旨なんですけどこれ多分私の方から申し上げたコメントで、
1:17:56	同じように
1:17:58	今回評価の変更結果も示されたけれどもこれ
1:18:03	そういったところについては審査の中で、詳しくちゃんと確認していきますという、今回でよしとしたわけじゃなくて陳謝の中で確認しますというふうに、
1:18:14	申し上げてるので、
1:18:15	前回の審査会合のんで評価してた内容から、ここが変わりましたっていうところはデータの変更じゃなくて、評価の変更っていうところも、
1:18:27	ちゃんと示していただきたいなと思ってます。
1:18:30	なので特にこの断層の連続性評価っていうのは、結構、
1:18:35	主要な論点になってくると思うので、
1:18:38	そこは改めて丁寧に説明をしていただきたいので、よろしく申し上げます。
1:18:53	承知いたしました。前回の会合でもですね、カイダさんがまさに、データ部分に関しては、この評価部分に関して言い方を全く変えられてたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:03	評価については聞き置きましたっていうふうにおっしゃってたので、そこはそういうご趣旨であろうというふうに私どもも認識させていただきます。ですから今回1データにクイックに関してはトレサビ都市として、
1:19:14	しっかりご確認いただいている、ただ評価部分は、やはり審査の中できちっと見ていて、我々もそれをご説明する必要があるんだというふうに認識させていただきます。どうぞよろしくをお願いします。
1:19:27	カイダです。よろしくお願ひいたします。
1:19:31	それでは引き続き最後7番ですねこれスケッチの作成日、資料でいくと、100運営。
1:19:38	5ページの六、七百六、七百七で、見開きの方が、
1:19:47	わかりやすいかなと思いますけど
1:19:50	作成日、何月何、何年何月何日という書いてあるところですね。
1:19:56	これはコメントを今今回整理していただいたんですけども、こちらの方から、そのように申し上げました。
1:20:05	この露頭の状況が、
1:20:07	いつの時点のものなのかっていうところが、
1:20:11	まだ大事で、それが次に、いついつ見たときにどう変わりました。
1:20:18	それ
1:20:20	取り込んで変わったのかもしれないですし詳細に見て、
1:20:25	細部がよくわかってきて変わったっていうところもあるかと思うんですけども、
1:20:29	それがいつの時点の観察結果なのかっていうところが、
1:20:34	審査の中ではそこを重視して見ていきたいなというふうに思ってるんですね。
1:20:40	そういった意味でも、
1:20:42	107ページ、2022年3月31日作成日って書いてますけど、
1:20:48	これ実は確認日なんだっていうところ。
1:20:51	でした。
1:20:55	何かの書類からこれをコピーされてきたん。
1:20:59	その書類ではこういう使い方をしてたのかもしれないですけども、
1:21:03	少なくとも審査資料の中では
1:21:06	ここは作成した日そのものを変えていただきたいので、そこは
1:21:13	今後適正化をしていただきたいなというふうに思っています。
1:21:19	普通にも、先ほど申し上げたように何、何バージョンかあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:25	時代を経て変わってきてるのであれば、その変遷というのもわかりやすく、
1:21:30	ちゃんと示していただいて、整理していただきたいと。
1:21:35	ということで、7番のコメントを見る限りは、
1:21:42	おそらくその辺りは、
1:21:44	理解していただいているのかなと思ってますけれども。
1:21:49	この点でのためなんですけどよろしいでしょうか。
1:22:04	県連の小野瀬でございます。
1:22:06	1点だけ、
1:22:09	一番最後のさらにの後に、
1:22:12	9番のスケッチを含めて履歴を示すとあって、でかい患者さん今後の審査においてというふうに発言されたんですけど、この今後っていうのは、
1:22:27	次回の
1:22:29	このトレーサビリティの確認の審査を含めて今後っておっしゃられたのかK断層の連続性とか本格審査に入ってから今後っておっしゃられたのかっていうのは、
1:22:41	お聞きしてもよろしいですか。
1:22:47	カイダです。今ほど申し上げたのは実際の中身の審査に入ってからのお話であくまで今回見てるのはデータ。
1:22:56	9、9バージョンで、今のバージョンっていうところで、
1:23:01	道州制なったかっていう、これおそらく、
1:23:04	この貼り間違いだったところ、こういうふうに播磨張り直しましたっていう説明なので、それはもう、その限りの説明でよくて、実際中身を評価するときは、
1:23:14	そうじゃなくて全体を示していただきたいとそういう趣旨です。
1:23:22	現在小野瀬でございますが、ありがとうございます。
1:23:32	市町ノダですけど、7ポツのところは私から、会合でも少し事実確認をさせていただいたところで2点、まず1点目は、106ページ。
1:23:45	106ページのスケッチこれ2013年11月作成ってなってるんですけど、これ多分それ以前じゃないかと思っていて、これはちなみに、いつ、
1:23:55	作成されたスケッチか。
1:23:57	事実確認させてもらっていいですか。
1:24:12	えーと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:18	元でのカニワです。ちょ、申し訳ありませんちょっと今すぐにこれがいつ時点だったかっていうのは、ちょっと思い出せないんですけど、
1:24:29	申し訳ありません。
1:24:32	規制庁野田ですけど、有賀さんはわかりました。そしたら、
1:24:38	ファクトとして、何かの機会に何かの機会というか、今度のヒアリング時なのかな。いえ、これが、
1:24:46	いつ作成もしたもののか、私の理解で、時系列の理解では、少なくとも2013年11月より前じゃないかと思っているので、少しそこはファクトとして教えていただければと思うのが1点と、
1:25:00	あと2点目は、107ページの方で、
1:25:05	作成日。
1:25:12	ちょっとこれもすいません、苦言を呈するようで恐縮なんですけど、
1:25:16	御社はこの作成日っていうこって書いてあることに、
1:25:22	特に違和感を感じずにこの審査資料が、
1:25:26	我々に、
1:25:28	提出されて、
1:25:30	いるんですか。いるんですかっていうかももう出てるんで、いるんですけど。
1:25:34	その点は、
1:25:37	どういう、
1:25:40	会合を踏まえてでもいいんですけど、どういう認識かちょっと確認させてもらっていいですか。
1:25:49	原電の齋藤でございます。私の方からちょっと今の件ちょっとお答えしたいと思いますけども、
1:25:55	神谷さんとか野瀬さんとかもし僕も間違ったこと言ったら、修正してください。
1:26:00	えっとですね、107ページって修正のエビデンスってふうに右側にふうに書いてあると思うんですけども、これどういうことかという私ども技術設計しようという形で今回
1:26:12	受注者さあ、すいません調査会社さんからですね、出していただいた提案、提出された資料をもとに私どもの記録、品証上の記録として、
1:26:23	これを受領してるものを、これをまあさ。
1:26:26	作成してるものなんですね。それで、これを記録化した時、例えばこのスケジュールであれば、このスケジュールあればですね、スケジュール

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の実右のですね、この絵のところだけどうも見てしまいましたんですけども私ども、
1:26:41	左上に書いてあるですね、この基準も含めて私どもスケッチってふうに言っておるんです。
1:26:47	これをちょうど左側の方に細かくでありますようにこれも審査会合の場でちょっと話ありましたけども、このビーカGがどっちか一文字ここ抜けていて、その後日を修正してるんですね、修正した上で、
1:27:00	これ全体をスケッチ図として、記録として承認した、それが当時は当日確認ということを使ってましたけれども、そういうふうになさ、記録として作成し承認した日を、
1:27:14	に衛藤さん、3月31というふうに書いてるわけなんです。ですから品証上のエビデンスとしては、社内にはこれがこういう形でエビデンスとして残しておりましたと。それを今度お付けしてるんですけども、
1:27:28	ただそれをですね審査の場で、それをそのままご説明した時にですねどういことが起きたかという、やはりスケッチっていうとスケッチ図、右側がどうだったかってことをやはり、
1:27:40	審査の場で非常に気にされたもので、これは本当にこの日付とかと言われると、これはこの部分は直しておりませんので、実は前からあるものをそのままつけてるんですね。
1:27:50	そこの部分の、品証上の我々の扱いと審査でどう説明するのが本当は、正しく審査を受ける上で、よかったかという観点から、ちょっとそこがちょっとできてなかったなというふうに、
1:28:06	正直思ってるわけです。ですから本来でしたらこの図はいつ作った図ですと、
1:28:11	いうふうにそれもCの中にちゃんと付記しておれば、
1:28:15	よかったかなっていうふうに思っています。黒瀬さん、そんなことでよろしいですか。はい。以上でございます。
1:28:24	齋藤さんご説明ありがとうございました。はい。審査会合での、
1:28:30	やりとりを踏まえて、その後の御社の原因分析であったり、今後の対応方針についてははい。よくわかりました。そうですね。
1:28:44	もちろん我々その品証上のエビデンスが、いや、違うな。
1:28:50	我々正直言うと、
1:28:52	これこないだ管理官からも私同じこと言われたんですけど、品証上のエビデンス数、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:58	今まで我々がさかのぼって見る審査の過程においてですね、見る必要があるのかっていうことを指摘されたんですけど、多分そこなんですよねだから、我々はあくまでもその審査、
1:29:12	する上で必要なデータだったり情報というものをこの審査資料の中に織り込んでもらいたいということですので、会合でもそうですしカイダの方からも、
1:29:24	補足させていただいた通りですので、これも、このスケッチに限らず、これから、
1:29:33	資料全体に水平展開していただくときに、当然調査会社からこういった品証上のエビデンス、
1:29:41	が出てきてそれを御社の方で
1:29:43	承認するわけですけど、それをそのまま審査資料にすることが適切なのかもしくはやっぱりその審査を踏まえて、どういった
1:29:52	データであったりどういった記載が適切なのかっていうところも、念頭に置きながら、水平展開をしていただければと思います。いずれにしても、状況を承知しましたし、
1:30:06	少し
1:30:09	内部管理官であるとか、部長から問われた際には、そういった形で今回出されたものを、もう、
1:30:17	本社の中ではしっかりそういった原因分析であったり、今後の対策っていうものことは、検討されているんで今後はこういうことがないでしょうと、いうことは、私の方から説明しておきたいと思います。ありがとうございます。私から以上です。
1:30:40	規制庁カイダです。
1:30:43	コメント回答の一番から7番、今ご説明いただいたところで双方質疑等をさせていただきました。
1:30:52	この1から7のコメントを、のところで、1ヶ所文言修正していただきたいというところあったかなと思います。
1:31:01	ここのペーパーの議論通して規制庁からでもいいですし日本原電の方からでも、何か確認等、
1:31:11	あったら、この場でお願いしたいんですけど。
1:31:13	ございますでしょうか。
1:31:33	すいません原電の長野と申します。不適合の資料を担当しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:38	是正処置についてなんですが、今回不適合については、157 項目の過去の要は審査資料の変更修正について対策を書いたんですが、
1:31:49	是正処置も同じような観点で書くということで、
1:31:53	これは問題ないでしょうかというのはずっと今まで設計のプロセス、大分のプロセス或いは柱状図問題としての大きな是正も今までご説明してきたんですが、
1:32:03	今回の資料はあくまでもその 157 のデータの変更修正点のところに
1:32:08	着目して書いておりますが、この説明、要は是正についても、そういう観点で問題ないか確認。
1:32:16	させていただいてよろしいでしょうか。
1:32:28	カイダです。113 ページのところ私コメントの方をさしていただいて、
1:32:35	そんな時のイメージとしては、あくまでここに書いてあるものですかねこれは多分、
1:32:43	150、7ヶ所、
1:32:47	そのものについてのこの流れでこれがどうなるのかっていうところをイメージして申し上げました。
1:32:58	ほか柱状図の話とか入ってくるってということになると、
1:33:04	これまた、113 の資料もガラッと変わっちゃうというそんなことなんすかね。
1:33:12	長野です。今考えてるのは、1 回ご説明した資料はそのまま
1:33:18	少し説明を書き加える。要は対策完了の部分がわかりにくかったところを書き加えてですね、是正については新たなページをもうつけようと思っております。その時にその範囲について、少し悩んでおまして、
1:33:31	あくまでもこの 157 の堆砂食うあごめん。是正処置が新たなプロセスの中でちゃんとやられてることの確認を書くのか。
1:33:38	それとも、原燃が今までずっとやってきた、その広い範囲までこう広げてカクウた方がいいのか、そこをちょっと確認させていただきたいと思っております。
1:33:50	その広い範囲っていうのは 12 月 9 日の審査会合の場で 1 回ご説明している内容になります一番最初に、はい。
1:34:25	規制庁ノダですけど、名倉さんご説明ありがとうございました。上のため確認させていただきたいのは、趣旨はその範囲について、157 なのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:36	もしくは、12月10日の時には157以外のもの、それ例えば、157ってあくまでも柱状図以外の話であって、まだ柱状図っていうのは、他の範囲としてあるんですけど、
1:34:49	そこまで含めるのかもしくは、柱状図も含めるのかもしくは157だけなのかってそういう趣旨でよろしいですか。
1:35:14	規制庁野田です。もう1点確認させてください。そうするとその範囲が150なのか、もしくは157+柱状図。
1:35:22	7日で、
1:35:24	どういった違いが生じるんですか。違いが生じるわけではなくてただ単にその記載の、等を、
1:35:33	分量が増えるからって、そういうことですか。
1:35:36	その違いによって、
1:35:40	今長野さんが悩まれている点をもう少し具体的に教えてもらってもいいですか。
1:35:47	元ナガノです。すいません。
1:35:52	要は柱状図のところまで含めると1回もご説明した設計プロセスの見直し外部コミュニケーションプロセスそこまで日また改めて書く必要があるのかどうかという
1:36:03	結局はでもそこに帰結していくんです157の、この問題点も入る、ただ、1回ご説明したのは改めて書く必要があるかどうか、そこでまた分量が増えるんですですね、その確認だけちょっとさせていただきました。
1:36:36	規制庁野田ですけどご説明ありがとうございました。はい。イメージを、今言われたことを可視化というか、はい認識できたんで。そうですねもう、
1:36:49	全体の方は一度12月10日にご説明いただいているので、少し150名の方に特化した形で、資料、
1:37:00	作成いただければと思いますし、あとは、
1:37:05	あれかなあ。
1:37:09	そうですねそれを1回ヒアリングで見させていただいてそれでもやっぱり、
1:37:16	本資料としているのか参考として入れるのか、もう必要がないっていうのか、少しそこはヒアリングで事実確認させていただいた上で必要に応じて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:29	修正というか、
1:37:33	うん。軌道修正していければと思います。思って、現時点で思ってるんですけど、いかがでしょうか。
1:37:40	限度の中で承知ます。承知いたしました。ありがとうございます。
1:37:53	ほかどちらからでも、なければ工程の話としたいと思うんですけども、よろしいですか。
1:38:03	また
1:38:07	口頭工程の方の話に
1:38:10	入りたいと思います。前回の審議いただいた資料、審査会合の資料1-2に、
1:38:17	今後のスケジュールというところがあって53ページですかね
1:38:23	今
1:38:25	1、上の段の審査会合白丸のところが終わって、次にどうなるかっていうと
1:38:35	同じ欄の右側、資料提出っていうのは3月中、上旬から中旬の間っていうところ三角の、
1:38:43	印が示してあると。
1:38:46	いうところで、まず前回の会合でも申し上げたんですけども、15916のサンプルの内容を、
1:38:57	手直しした上で、157全体に
1:39:01	展開していただきたいというところで申し上げますんで、
1:39:05	これ状況としてはいかがですか。ここの、
1:39:11	ここに書かれてるような運営工程間で、
1:39:16	提出いただけるのか、何かその辺りの見通し等あればちょっと現状で教えていただければと思うんですけども。
1:39:31	原電の野瀬でございます。
1:39:34	えっとですね
1:39:36	一応ここを目指して作ってはござい
1:39:39	ますが、やはり、今日も出たように原燃の中でもう1回
1:39:45	この前の資料で本当にそのままいいのかとかわかりやすさを改めてこう見直しをかけるというか、レビューをする時間がちょっと読めない。
1:39:56	んですけど、やはりそこら辺は
1:39:59	会合でも知られたように、言われたようにですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:04	スケジュールは当然、目標としてはあるんですけども、やはりそれに縛られずにわかりやすさを、ちょっと追求というか、
1:40:11	したいと思ってますので、
1:40:15	今の時点ではですねちょっと今、何とも、
1:40:20	申し上げられないという状況です。
1:40:24	赤井です。ありがとうございます。ちょっとここを目指してはいるけれども、
1:40:32	検討状況によっては後ろ倒しになるかもしれないと。
1:40:37	いうところだと思います。
1:40:41	ちょっとそういう状況なのでいついつっていうところは
1:40:47	おっしゃることもなかなか難しいと思うので、
1:40:53	そうですね、これだから
1:40:56	今日の話を持ち帰っていただいて、また検討を通していただいて、
1:41:03	大体見通しとかがついてきたら、どのぐらいになるのかっていうところは
1:41:10	また改めてお伝えいただきたいなと思います。
1:41:15	一応
1:41:17	今日の時点ではこの3ページのこの工程からは、後ろ倒しになる可能性が
1:41:22	ありますというところは
1:41:26	お聞きしましたので、数そういった
1:41:31	何て言いますか、私ども心、心づもりで
1:41:35	考えておきたいなと思っています。
1:41:39	この点、いいよ、うちの規制庁のほうからよろしいですか。
1:41:49	規制庁ノダですけど、
1:41:54	今の説明の能勢さんからのご説明は、はい。
1:42:00	現状の認識として、
1:42:03	聞きおいたんですけど、
1:42:06	我々、このラップアップをやる目的としてはですね、
1:42:13	今日の
1:42:15	やりとりも、
1:42:16	踏まえて、
1:42:19	さらに認識が深まるんじゃないかと思うんですけど。
1:42:22	早く、正確な、
1:42:27	趣旨であったり内容というものについて、コメントのですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:33	本社と我々で、
1:42:35	共通認識を持つ。
1:42:37	そして、
1:42:39	御社におかれては、早く、その次の、
1:42:44	審査資料の作成、作業ですね、そういったものに着手し、
1:42:50	ひいてはなるべく早く、
1:42:53	審査会合を開催すると。
1:42:57	いうこの三つのステップですね共通認識。
1:43:00	作業。
1:43:02	介護の開催って、
1:43:04	我々はこういうふうに認識しておるんですけど、
1:43:11	御社として認識が同じなのか、もし違うところがあれば、ちょっと
1:43:20	ご指摘いただければと思うんですけどいかがでしょうか。
1:43:29	はい。原電の齋藤でございます。私どももですね、会合があって、そのあと、こういった形で面談で、そのコメントの趣旨を改めてご確認させていただいて、
1:43:42	その後確認させていただくことによって私どもがNRさんのご趣旨をきちんと理解し、それを資料に反映していく。
1:43:52	またですね私どもとしては、それを確認させていただくことによって、大きな手戻りが発生しない。つまり今、
1:44:03	年肅々と審査資料を作っていく、そういったプロセスに入るんだと思ってます。もちろん面談の前にもですね、私ども資料の作成は始めておりますけれども、
1:44:17	今日の結果を踏まえてまたそのフィードバックさせていただいてですね、あとでこういったことがわかるとちょっとまた大きな手元に集まりますから、そういったことは回避しながらやって参るつもりでございます。それでもって、
1:44:30	できましたら資料をお出しすることになるんですけどもただ、今日ご指摘ありましたようにまた審査会合でも大嶋部長からですね、ご指示ございましたように、
1:44:42	スケジュールありきではなくて、ちゃんと原電としてしっかりと作り込んだものを、次回を提出するようというふうに言われてございますので私どもそれを非常に重く受けとめてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:53	ですから先ほどですね能勢が申しましたように、少担当部門での資料作成はですね、今日の結果を踏まえてしっかりとやってるんですけども、
1:45:03	それがですね社内の中で、私どもも私もホリエもカミヤもそうんですけども、或いはそれぞれ以外の部門も含めて、きっちりと見て或いはほど電力さんにも見ていただいたりとか、
1:45:14	専門家に見ていただいたりとかしながらですね、作り込んでいきたいと。そういった意味では野田さんがですねさ、まさにおっしゃったことと、認識がですね、変わらないのかなというふうに私は考えてございますけれども、以上でございます。
1:45:30	規制庁野田ですけど。齊藤さん。ご説明ありがとうございました。はい。
1:45:36	ほぼほぼ、
1:45:38	認識は、共通認識はこのアップアップの目的ですね、目的であったりその後の対応という観点では、共通認識が図られているっていうのが確認できたんですけど、
1:45:50	他方でですね、今回のラップアップ、
1:45:55	今日ですね、今日開催されたわけなんですけど、
1:46:00	もう審査会合自体は、先週ですね、先生中の金曜日に行われて、
1:46:07	いて、
1:46:09	で、
1:46:10	もうかれこれ、
1:46:12	10日ぐらい経つんですかね、立っていて。
1:46:15	これ私、
1:46:17	だけではなくて、
1:46:18	うちの内部の中では、
1:46:20	二つ、今回のこのラップアップについては問題視されていて、
1:46:26	一つは、もう少々端的に申し上げますと、対応が遅い。
1:46:32	ということと、
1:46:33	あとは受け身の姿勢、
1:46:37	この2点です。で、
1:46:43	前回の審査会合は、の内容を振り返ると、別にその技術的な議論をしたわけではなくて、あくまでも御社が例示的に、
1:46:54	示した資料について、我々は形式的なことについて、
1:47:01	コメントした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:02	だけっていうと語弊があるかもしれないんですけど、だけですよね。
1:47:15	これはあんまりその主観的なことなのかもしれんですけど、私はそんなに、
1:47:19	我々からしたコメントの難易度は高くないですし、それについて、このコメントを作成するのに、
1:47:28	この資料が出てくるのに、1週間、
1:47:32	かかる。
1:47:33	ことではないと思ってましたし、
1:47:36	実際その金曜日にコメントをいただいても、
1:47:40	やっぱりそうだったなっていうことを改めて、実感してますこれは私だけじゃないです管理課もそうですし、植野幹部もそうです。
1:47:48	あとは、
1:47:51	これは、
1:47:53	他社と比較すると、
1:47:56	よくないのかもしれないんですけど、あえて言わしていただくと、
1:48:00	ラップアップをやるかやらないかを、
1:48:04	我々、
1:48:06	規制当局の方から、
1:48:09	アプローチしないと。
1:48:11	連絡はしてこない。
1:48:13	ごめんなさい。これはですね申し訳ないですけど、御社以外には少なくとも私が担当しているサイト、
1:48:19	については、本社以外はありません。
1:48:23	勝。
1:48:26	ラップアップをやるのかどうか。
1:48:29	それに対して御社から返信があって、
1:48:32	そのあと、
1:48:35	いつ、
1:48:37	コメントが出てくるのか、いつラップアップをやるのか。
1:48:41	私の理解ではこれも、
1:48:44	大井さん家から言ったんですよ。
1:48:59	連絡をして、資料提出、ヒアリングの資料といった意見。
1:49:10	うん。
1:49:12	ないっすね本社以外は。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:18	というですね。
1:49:19	その対応の遅さと、
1:49:23	受け身の姿勢ということに対して、
1:49:31	非常にうちの組織の中で、問題視されてますし、私もそれについて、
1:49:39	管理官だけではなくて、
1:49:42	幹部から、
1:49:44	しっかりやれと。
1:49:45	いうことを、先週言われました。
1:49:48	まず確認したいのは、
1:49:52	何でこんなに
1:49:54	ラップをやるかやらないかの判断であるとか、
1:49:59	コメントリストを、
1:50:01	作成して提出するまでに時間がかかっているのか、その一言で言うと、 対応の遅さについて、
1:50:09	確認させてもらっていいですか。
1:50:12	理由であったり、原因であったり、
1:50:17	これは齋藤さんに確認する話なのかなあ、ノセさんなのか、本社の方から ご説明いただけますか。
1:50:29	すいません原電の齋藤でございます。
1:50:33	以上ですね太陽の須佐、あとまたですね木野市政というふうに
1:50:38	とらえてしまってるっていうことを大変申し訳なく思います。
1:50:43	私どもの社内といたしましては、2月10日に審査会合があったわけでご ざいますけれども、そのあとすぐにバックアップを申し込もうと。
1:50:54	いう話はしてございました。ですからそこですこ強いタイムラグが生じ てしまったというのは、誠に申し訳ないことだと思います。はい。
1:51:06	えっとですねそうですね
1:51:11	いろいろとですね、ちょっとこれすいません事務局の方で、仲川さん、 少しちょっとフォローをお願いしたいなと思いますけれども、
1:51:23	決して言い訳するつもりはないんですけれども、
1:51:26	他社さんの審査会合と違って今回、トレーサビリティに関する審査会 合ってのはなかなか他に例がないわけでございまして、
1:51:36	てなお母さんの157あるうちの16例値を例としてまずすると、やると いうふうにおっしゃっていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:46	にヒアリングをやっていただいて、なかなか我々でも修正する時間が、正直ちょっと取れなかったところがあって、本当でしたらもっとちゃんと直してやるべきだったんですけどもそれができなかった。
1:51:59	それを多分、7割8割のご指摘だったかなというところもございまして、プラスアルファでご指摘いただく含めて、ただやっぱり
1:52:10	前ですね
1:52:12	そうですねちょっと違う話になるかもしれませんが、157のうちの例示として出すのは、エビデンスの資料の出し方であって、
1:52:25	分類は、実は全部やってるのが普通だろうというふうに、そういう会話がちょっと平井のときあったように、やっぱり左ちゃんとラップで私もそれ、
1:52:36	ちょっとそこ認識できてなかったところがあるんですね。だからですからちゃんとやっぱりラップアップそういうところも含めてしっかりと認識合わせをしないと、私は我々もまたちょっと自分たちで勝手に解釈して進んじゃうとまずいだろうと。
1:52:50	いうのもありましたんで、ラップはですねちょっとはさせていただきたいというふうに、それ審査会合が終わり次第ですねそう思っていました。
1:52:59	すいませんちょっとご連絡とかがちょっと遅くなったのですね長尾さんちょっとなんか、
1:53:06	ご説明できますか。
1:53:17	はい日本原燃中川と申します。
1:53:20	トラップの申し込みにつきましてちょっと遅くなってしまった内容、主なものっていうか、原因なんですけど、
1:53:27	ラップアップ、審査会合の面談ということで、申し込みの際にですね、やはり何を聞きたいのか、規制庁様にですね、その確認事項はちょっとしっかり
1:53:38	社内で確認しようという話はしました。
1:53:41	ただ単にコメント指摘事項を受けていることに対してですね、
1:53:46	ここはこういう書き方ですよねとかその辺、
1:53:49	という書き方はちょっと規制庁さんに。
1:53:52	面談で申し込むのはそれはないだろうっていうのをちょっと社内で確認しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:56	もし、指摘事項について、何かコメントがあるのであれば、審査会合でやる。
1:54:02	てことは規制庁様からも伝えられておりますので、その対応で、
1:54:07	そうすると今回本当に何を確認しなきゃいけない。
1:54:09	ちょっと社内の方ですね
1:54:12	まとめるのにちょっと時間がかかってしまった。
1:54:14	というのが、一番の理由になっております。
1:54:18	その後申し込む際に大井様の方から先に連絡をいただいてですね、
1:54:24	その時に申し込みメールを考えているってことをちょっとお伝えさせていただきました。
1:54:30	はい。すいません以上になります。
1:54:34	規制庁の野田です。齋藤さん、
1:54:38	谷さんご説明ありがとうございました。
1:54:42	はい。御社の方でまず、ラップアップの重要性、それは前回の審査会合の後のラップアップであるとか、それを踏まえた
1:54:53	前回のヒアリングですね、その分類の話っていうところがあって、アップアップの重要性を再度認識されたっていうことは、特に私も、
1:55:04	異存はないんですけど、他方で、
1:55:07	ラップアップをやるかやらないか。
1:55:11	いやもちろんそのやるのであればどういったことを確認しなければいけないかっていうことはあると思うんですけど、
1:55:19	あれですかね、
1:55:21	本社としてはそのラップをやるかやらないかっていう、
1:55:25	判断をするにあたって、事業、事業者、規制庁に何を
1:55:31	審査会合の議論を踏まえて確認しなきゃいけないかっていうところまで、
1:55:37	社内で認識。
1:55:40	今回トレーサビリティのこともあるんで、複数の部署に跨るっていうこともあるのかもしれないですけど、そこまでやらないと、
1:55:48	ラップアップ。
1:55:50	をやるかやらないかの判断が、
1:55:53	できないっていうことをおっしゃってるんですかね、ちなみに早いところは。
1:55:58	ラップも審査会合の当日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:02	もう夕方とかに、もうラップアップをやるかやらないかは言ってくる。
1:56:07	会社もあります。そういったことを管理課は認識してます。それを踏まえて、多分、かにかそういう物差しで、
1:56:17	じゃあその週明けの月曜日に連絡が事業者側からあるのかなのか、火曜日にあんのかないのか。
1:56:26	こういう物差しで管理官は物差しであったり、
1:56:31	ラップアップをやるかやらないかのその判断。
1:56:33	基準なんですかね判断基準というか、
1:56:36	そういうことなんです、そういう物差しで多分、少なくとも管理官は、
1:56:41	この
1:56:42	対応の遅さっていうことを、
1:56:46	言ってるわけなんですよ。
1:56:50	それを踏まえて、
1:56:53	もう一度確認したいのは、
1:56:55	本社としては、そのラップアップをやるかやらないかの判断をするにあたって、そういう確認事項の詳しいことまで、
1:57:04	社内で共通認識が取れないとできないってことなんですかねもしそうであれば私は管理課にそういうふうに伝えます。
1:57:11	日本原電の場合は、ラップアップをやるかやらないかっていうことはすぐ決められない。なぜかという、そういう、
1:57:18	社内の中で、複数に跨る案件2つ、複数の部署に跨る案件であって、かつ、そういう確認事項までしっかり、
1:57:28	共通認識が図られないと。
1:57:30	ラップアップをやるかやらないかの判断ができない、そういう事業者なんですと、私はそういうふうに説明しようと思うんですけど。
1:57:38	もし違ければ、修正してもらえればと思いますし、もし、今後、そういったところを、今の他社の、
1:57:48	対応ですね。
1:57:50	他社の対応、管理官の認識、
1:57:52	本社の今までのやり方、そういったことを踏まえて、もし御社の方から、修正だったり、訂正、
1:58:01	もしくは今後の対応方針を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:04	変えるのであれば、ちょっとご発言いただいてもいいですか。いずれにしても、今の、
1:58:09	やりとりを私はそのまま管理課に報告しますので、よろしくをお願いします。
1:58:15	発電管理室上げ現在発電管理者嶋田と申しますナカガワと同じ発電管理室でございまして、本日品証の方のお話のために、今日は出席しておりますけれどもその観点からも、ご説明させていただきます。
1:58:29	我々持っている、
1:58:32	手順書、要綱要領の中ではですね、
1:58:37	審査会合を代わり終わり次第ですね、終わり次第、必ずその確認した中身について確認をするというところが定められ、定められておまして、
1:58:49	その内容について、その中身が決まらないと、申し込まないというような、決まりはないです。ないので今回は、
1:58:59	我々のその発電管理室の中で、担当との話の中でですね、審査会合で、
1:59:08	orが終わり次第ですねちゃんと、
1:59:12	アポ取りというかですね、ラップアップするように申し込んだのかというような確認がですね非常に遅れたというところで大変申し訳なく思っております。
1:59:23	担当のとの確認の中で、今回審査会合でおっしゃっていただいたような内容については、
1:59:33	何回もそのことを聞いてですね、自分たちで書き上げて、中身について、どういった解釈で、どのように対応していくかというところは、
1:59:44	進めておりましたのでこのとか間の間は、
1:59:47	次の資料について、どういうふうにするかというところは社内では非常に確認を進めているところございまして、そうした上で、その疑問点についてしっかりと、
1:59:58	把握して伺って、
2:00:02	次の資料がですね確実なものになるようにっていう思いがちょっと強過ぎたのかもわからないと思いますけれども、ちょっと今回は、
2:00:13	アポ取りについて遅くなったというところについては完全に欲しいと思いますので、今後はですね、すぐに戻りさせていただくように、
2:00:21	指導していきたいと思います。申し訳ございませんでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:30	規制庁野田ですけど、わかりましたそしたらちょっと今回は、中でのコミュニケーションがうまくいなくて
2:00:41	ラップアップの申し込みが、
2:00:45	一つは、我々からの、
2:00:50	連絡が、
2:00:52	確認があって、
2:00:55	御社として、申し込みがあったこと、あとは、御社としてそれ以前に、ラップアップの、
2:01:02	希望の有無を伝えられなかったと。
2:01:05	いうことがそういった要因であるというふうに、はい。管理課には説明しておきますし、あとは今のご説明ですと、こういうそういったことは、今後はないだろうということですので
2:01:19	その旨、管理課には報告をしておきますし、
2:01:25	あれですかねラップアップの、
2:01:27	希望もそうですし、
2:01:29	資料の提出、
2:01:32	コメントの
2:01:34	コメント案の提出ですね、コメントの提出、あとは具体的にいつ、
2:01:39	ラップアップが、
2:01:41	できそうなのかという、希望ですねすいませんこれも今回は、こういった背景もあって、もう管理官から仕分けにやれと。
2:01:51	言われたんで、すいません、こちらの、
2:01:57	都合で、
2:02:00	やらざるをえなかったんですけど、そういったことも、今後はなくなると。
2:02:07	我々は認識しておるんですけど、
2:02:12	御社としても、そういったことでよろしいですか。
2:02:16	はい、原電の齋藤でございます。今回のことに関しましてですね、牟田さんが今おっしゃいましたように、
2:02:23	原点という会社として、20日室の会議室もなくですね、会社として、
2:02:28	態度を改めさせていただきたいと思います。
2:02:31	はい、どうぞよろしく申し上げます。
2:02:36	はい、わかりました。一応、
2:02:41	こういう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:43	何ですかね、
2:02:48	今回で言うところのラップアップの、その設定の話でありますので、こういった面談の中で確認させていただいたんですけど、
2:03:02	ちょっと同じことがあると。
2:03:08	御社の
2:03:10	強い差という審査の、
2:03:13	進め方であったり、
2:03:16	スケジュール管理というところで、
2:03:22	面談を超えて会合とかの場で、
2:03:27	もうそういう会合というそういう公開の場でも、
2:03:32	指摘というか、苦言を呈さざるをえないような状況は、私自身は避けたいと思っていますので、
2:03:40	今回ちょっと私の
2:03:44	そういった、何ですかね。
2:03:48	気づかいというか、そういったところが足りなかったところもあるんですけど、ただ、
2:03:53	一義的にはそれは、事業者である御社が、
2:03:57	やることであると思っていますので、少し、今回の教訓であるとか、
2:04:10	何ですかね、病院というか、背景とある。
2:04:13	体系となっている他社の状況、管理官の
2:04:18	スケジュール感ですね、というものは、明示的にお伝えしましたんで、それを踏まえて、今後ご対応いただければと思いますし、これは別に、面談の設定に限った話ではなくて、
2:04:31	今、相田からも最後に、次回の
2:04:36	ヒアリングに向けた審査会合資料の提出ですね、そのスケジュール感についても確認させていただいて、
2:04:46	前回の審査会合よりかは少し後ろ倒しになるんじゃないかというお話がありましたけど、
2:04:54	そういったことも、
2:04:57	含めてだと、含めて私は管理官から言われていると認識していますので、その旨を御社にもお伝えしたいと思いますので、
2:05:10	3月の中旬になるまで、御社から、
2:05:15	何も連絡がないという本心普通の状態は、
2:05:19	避けたいと思っていますし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:23	ちょっとこれを見てもし本社から何も連絡がなければ、こちらから確認をさせていただこうと思うんですけど、そういったことは、
2:05:33	別に管理課の手前というわけじゃないですけど、なるべく避けた方がいいんじゃないかと思ってますんで、御社の中でも、そういった
2:05:42	審査の
2:05:43	進め方であったりスケジュール感というものの認識を持ってもらって、対抗対応いただければと思います。私から以上です。
2:05:52	現在の齋藤でございます。承知いたしました。衛藤そうですね受け身になるのではなくて、こちらからですね、常に新しい状況ですね。
2:06:01	適切にご連絡差し上げるようにいたします。はい。申し訳ございません。
2:06:15	規制庁甲斐です。それでは
2:06:19	特にもうなければですね、今日の面談を終了して、したいと思えますけど、よろしいですね。
2:06:27	はい。
2:06:29	それでは敦賀発電所、千手 113 回審査会の介護のコメントに関する面談を終了します。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。